

## 令和2年度学生表彰規程に基づく受賞者一覧

### 1. 学生表彰規程第2条第2号ロによる推薦

(全国的又は地区的規模の競技会等において優秀な成績を修めたもの)

対象	団体名	氏名	学部	学年	表彰理由
個人	カヌー部	ミヤハラ ナミ 宮原 千波	文学部	3年	①令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会 WC1-500m A決勝9位 (2020年9月9日～13日、石川県小松市 木場潟カヌー競技場) ②第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会 WC1-200m 決勝3位 (2020年9月18日～22日、石川県小松市 木場潟カヌー競技場) ③第57回関西カヌースプリント選手権大会 WC1-500m 決勝2位 (2020年10月17日、滋賀県大津市 琵琶湖漕艇場)
個人	硬式野球部	イシイ ユウスケ 石井 佑典	経済学部	4年	令和2年度近畿学生野球秋季リーグ戦I部ベストナイン賞二塁手 守備率0.983。49打数17安打(打率0.347)、打点10(リーグトップ)。
個人	少林寺拳法部	マルカワ トモスケ 丸岡 知祐	国際人間科学部	2年	全日本学生少林寺拳法連盟主催第54回少林寺拳法全日本学生大会、男子茶帯の部において優秀賞を獲得
個人	少林寺拳法部	ヤマモト ナオフミ 山本 直史	農学部	2年	全日本学生少林寺拳法連盟主催第54回少林寺拳法全日本学生大会、男子茶帯の部において優秀賞を獲得
団体	漕艇部 主務	ナカニ ナカ 桶谷 菜々子	国際人間科学部	3年	第47回全日本大学選手権大会(公益財団法人日本ボート協会)女子舵手つきフォア部門第8位入賞

## 2. 学生表彰規程第2条第2号ニによる推薦

(卒業年度に当たる者で、在学中の課外活動において特に顕著な功労があったもの)

対象	団体名	氏名	学部	学年	表彰理由
個人	柔道部	イミ コキ 礒見 恒樹	法学部	4年	被推薦者の礒見恒樹は、柔道部の主将になって初めての試合となった、兵庫県学生柔道体重別選手権大会男子66kg級において国立大学の学生としては十数年ぶりに優勝した。兵庫県学生柔道でのこの階級は全国的にみてもレベルが高く、国立大学の学生が優勝したのは特筆に値するものである。 また、彼は入学してから昨年度までの3年間の三商大戦（15人の勝抜き戦）における総勝ち数が22勝であり、67回の柔道大会の歴史をみても、神戸大学、一橋大学、大阪市立大学の選手の中で最も数多く勝利を収めた選手である。
個人	陸上競技部	カノ ヲリ 仲野 由佳梨	理学部	4年	陸上競技部に所属の仲野由佳梨さんは、令和元年12月30日に開催された富士山女子駅伝（正式名称：2019全日本大学女子選抜駅伝競走、主催：公益社団法人日本学生陸上競技連合、富士山本宮浅間大社前から富士総合運動公園陸上競技場までの全7区間43.4km、全24チーム出場）に、全日本大学選抜チームの一員として出場し3位入賞を果たした。 今年度は、天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会の10,000mで11位という実績があり、令和3年1月31日に開催される大阪国際女子マラソンに「ネクストヒロイン」という招待選手として出場し、神戸大学が全国的に紹介されることの一翼を担っている。

対象	団体名	氏名	学部	学年	表彰理由
個人	応援団	ミヤキ ケン 宮脇 健也	経営学部	4年	<p>神戸大学応援団は60年の歴史を持ち、学生の課外活動（とくに対外試合など）に対する応援活動のみならず、はじめて六甲祭を開催するなど、長く神戸大学の学生諸団体の中心的存在でした。また、応援団のOBOG会は会員数でみて500名程度おられ、凌霜会を始めとする神戸大学同窓会などで中心的な役割を果たされてきました。応援団は、大学行事である入学式などでも、学歌を指揮するなど積極的に大学の関連行事などの支援も行って参りました。しかしながら、数年前から入団者が激減し、自律的な応援団活動ができない状態が継続していました。</p> <p>2018年に経営学部編入学した宮脇健也君は、応援団に入団し、リーダー団員として自律的な応援団活動を再開させるうえで極めて重要な役割を果たしてきました。応援団の再建を切望していた体育会系の諸団体（アメフト部や野球部など）も、宮脇君の応援団活動を「応援」し、神戸大学における学生の課外活動の活性化にも大きく貢献したと言えるでしょう。また、添付したとおり、宮脇君が2019年に第59代の団長となってからは、新聞やテレビなどでも取り上げられ社会的な関心を喚起します。彼が応援する姿を撮影した映像は、2019年末に関西写真記者協会の協会賞の金賞を受賞しています。</p> <p>2019年度は三商大イベントで神戸大学が幹事校を務めるなか、宮脇君は応援団の団長として出光講堂において三商大応援団との合同演武会を成功させました。また、アメフト部や野球部をはじめとする諸団体の応援活動にも注力し、六甲祭でも数年ぶりに応援団の演武を披露しました。</p> <p>2020年度、宮脇君を団長とする応援団は、新型コロナ禍で活動が制限されているなかでも、新入団員の獲得にも成功し、自律的な応援団活動の土台をつくることができました。</p>

### 3. 感謝状贈呈要項学生表彰規程第2条第1項第1号による推薦

(課外活動団体の監督、師範、コーチとして永年にわたって献身的に指導した者)

対象	団体名	氏名	学部	学年	表彰理由
個人	剣道部 師範	ススキヤスリ 鈴木 康功			鈴木 康功氏は昭和55年4月より、本業の傍ら、剣道部師範として剣道部部員の指導に無償で携わってこられた。 鈴木氏は兵庫県警に奉職され、剣道においては県警剣道副主席師範として県警術科指導にたずさわられ、同職退官後は兵庫県剣道連盟理事・副会長として兵庫県における剣道の発展に多大なる貢献をされてきた。その傍ら、本学剣道部で師範として毎週の稽古、剣道部合宿、公式試合において指導されてきた。剣道を通じて学生に精神的・身体的鍛錬の重要性とともに文武不岐を説かれ、これまでに約400名の部員が鈴木氏の薫陶を受け、国内外の企業はもとより全国の初・中等教育でも活躍している。在任中の実績は全関西学生剣道大会入賞のみならず、伝統ある旧三商大学定期戦では数多く優勝に導いている。鈴木氏の薫陶を受けた部員の多くは卒業後も剣道を続け、指導者として全国各地で青少年の健全育成に携わっている。このように、人財育成の観点からも、鈴木氏の課外活動を通じた本学への貢献は顕著である。